

ごみ減量・リサイクル自慢大会 部門別一覧

企業・団体部門 14点

No	ア イ デ ア		
	タイトル	内容	セールスポイント
1	外国人をはじめ来館者にプチプレゼント	本資料館には、各地の博物館から、ポスター・チラシが配布用として送られてくる。期限の切れた配布残りの美しい色彩のポスター・チラシを生かして昼休みに職員が小箱やコマを手作りして来館者にプレゼントしている。	捨てればごみになるチラシを利用して、小箱や動かして遊べるコマを作り、外国人をはじめ来館者に喜ばれている。
2	フリーマーケットの活用	私は子どもたちの洋服やおもちゃ、家具などほとんどのものをフリーマーケットやお下りの頂き物を活用しています。	新しく買ってごみを出さずに済むし、ゆずった人もいらぬ物が減って一石二鳥だと思います。
3	執着	街頭で無料配布物や景品などに執着せずにもらわぬように心がけている。	執着しなければ身も心も軽くなる。
4	ペットボトルのラベル	ペットボトルのラベル。少しでも小さくし、外しやすいものにしてけると良いと思います。キャップを集める場所があると、持って行けると思います。	
5	ムダをはぶいてエコ	とにかくムダな物を買わないようにしています。シンプルに暮らしていくと余計なごみもあまり出ません。	自分にできることはこのくらい。お金もないので、ちょうどいいです。今年は去年にくらべ暑かったのでエコダウンでした。
6	ストライクでリサイクル	昭和58年創設で満25周年になるが、第10回大会から不用品を持ち寄って景品として活用。	○ 平成10年11月にCATVで、その模様が紹介（放映）された。
7	ひよことたまごのママクラブ	資源ごみの有料リサイクル、古布のリサイクル	同じマンション住人同志で仲良しさん同志なら赤ちゃんの物は使い回しできると気づきました。

8	夏の暑さ対策	使用済みのペットボトルに半分程水を入れて凍らせる。出かけるときに後の半分、水かお茶を足して飲料用にする。	ペットボトルは洗って何度でも使用できます。保冷用の袋に入れれば、暑い日でも3時間くらいは冷たい水を飲むことができます。全部凍ってないから、ほどよく飲めます。
9	針金ハンガーの再利用	折り曲げて、靴やスリッパを干すときに使ってみます。	針金なので、靴の大きさに合わせて、サイズが変えられる点が便利です。
10	扇風機の有効利用	昨年より扇風機を有効に利用している。	外気温が下がっているときは、室内はムンムンでも扇風機を窓際に置いて外気を内に取り入れる。
11	紙をパッキンに	会社から出る用紙を捨てる場合紙をシュレッターにかけて、それをビニール袋に入れて発送をする際に使う。	パッキンとして利用しています。ごみを減らせる上に、パッキンの買う量も減らせるためコスト削減にもつながります。
12	エコおやつ	うれすぎた果物のそのまま「シャーベット」 パンのみみフレンチトースト	どちらも捨てるのがもったいなくて思いついた苦肉の策。子どもが喜んで食べてくれるのでおやつ代も浮いてWピース。
13	生ごみは燃やさない	1日平均100g程の調理クズなどの生ごみは、植木の古くなった土をためて置いたコンポストで自家処理 処理しきれない玉ねぎの薄皮、枝豆の枝、とうもろこしの芯などは乾燥して燃やすごみに 日常的に「リデュース」を一番、資源の分別徹底で ごみ出しは週1回程度	自家処理しきれないごみも乾燥させているので、我が家のごみ出しは週1度か2～3回で済んでいるのが自慢
14	古布リサイクル	古くなった衣類を小さく切り、お鍋のあく取りをした時、吸わせてから捨てる。フライパンの油をふき取る	ギトギトの油を下水に流さなくて済む。環境にもやさしい、排水口の掃除も簡単